

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	セメダイン EP48W 主剤
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	セメダイン株式会社
住所	306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門	品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号	0280-92-4518
FAX番号	0280-92-1947
メールアドレス	emg@cemedine.co.jp
緊急連絡電話番号	0280-92-4518 月曜～金曜、8時30分～16時50分まで（言語：日本語）

推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	エポキシ樹脂系二液形接着剤 主剤。
使用上の制限	推奨用途以外の用途には使用しないでください。
整理番号	1490-2

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類	
物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。
健康に対する有害性	皮膚腐食性 / 刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 区分2 皮膚感作性 区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 長期（慢性） 区分2

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策	粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護眼鏡 / 保護面を着用すること。保護手袋を着用すること。
------	---

応急措置	皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。眼の刺激が続く場合：医師の診察 / 手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。漏出物を回収すること。
------	--

保管	なし。
----	-----

廃棄	内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。
----	----------------------------------

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

混合物の43.597 % は急性経口毒性未知の成分である。混合物の43.597 % は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の43.597 % は急性吸入毒性未知の成分である。混合物の47.684 % は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の2.725 % は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚炎。発疹。

非常事態の概要

強い眼刺激。皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号		
		化審法	安衛法	含有量 (%)
ビスフェノールA型エポキシ樹脂	企業秘密	企業秘密	企業秘密	40 - 50
ビスフェノールF型エポキシ樹脂	企業秘密	企業秘密	企業秘密	40 - 50
2 - [(アルキルオキシ) メチル] オキシラン (アルキル基の炭素数が 1 2 から 1 4 までのもの及びその混合物に限る。)	68609-97-2	(2)-2426	(2)-2426	1 - 5
3-メトキシ3-メチル-ブタノール	56539-66-3	(2)-3079, (7)-97	(2)-3079, (7)-97	1 - 5
エポキシ樹脂	企業秘密	企業秘密	企業秘密	1 - 5

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。症状が現れたら医師の手当を受ける。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重度の眼刺激。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。皮膚刺激性 充血と痛みを起すことがある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚炎。発疹。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO2) 。

使ってはならない消火剤

火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。

火災時の特有の危険有害性

火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。

特有の消火方法

危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。

一般的な火災の危険性

異常な火災や爆発の危険性は知られていない。

特定の消火方法

通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び 機材

水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。

大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。

少量の漏出： 残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。

絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気、全体換気等）

適切な換気を行う。

安全取扱注意事項

粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。

接触回避

詳細についてはSDS第10項を参照。

衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保管

安全な保管条件

容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること（本SDSの項目10を参照）。内容物を5 - 35℃中で保管すること。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

含有成分に関して暴露限界は設定されていない。

暴露ガイドライン

OELは製品の現在の物理的性状とは関係ない。

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

不浸透性の手袋を着用しなければならない。

眼、顔面の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）を着用する。フェイスシールドが望ましい。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性の保護具を着用しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体。

形状

固体。ペースト状。

色

淡白色。

臭い

データなし。

融点 / 凝固点

データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし。

可燃性

データなし。

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

爆発限界 - 下限(%)

データなし。

爆発限界 - 上限(%)

データなし。

引火点

180.0 °C (356.0 °F)

自然発火点

データなし。

分解温度

データなし。

pH

データなし。

動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度 (水)	データなし。
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び / 又は相対密度	
密度	1.16 g/cm3
相対密度	1.16 g/cm3
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
比重	1.16

10. 安定性及び反応性

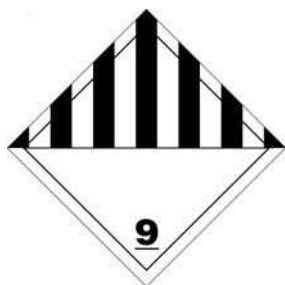
反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	混合物の43.597 % は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の43.597 % は急性経口毒性未知の成分である。混合物の43.597 % は急性吸入毒性未知の成分である。	
皮膚腐食性 / 刺激性	皮膚刺激。	
	2 - [(アルキルオキシ) メチル] オキシラン (アルキル基の炭素数が 1 2 から 1 4 までのもの及びその混合物に限る。)	区分2 : REACH分類
	エポキシ樹脂	区分2 : REACH分類
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分2 : REACH分類
	ビスフェノールF型エポキシ樹脂	区分2 : REACH分類
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	強い眼刺激。	
	3-メトキシ3-メチル-ブタノール	区分2 : REACH分類
	エポキシ樹脂	区分2 : REACH分類
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分2 : REACH分類
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。	
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。	
	2 - [(アルキルオキシ) メチル] オキシラン (アルキル基の炭素数が 1 2 から 1 4 までのもの及びその混合物に限る。)	区分1 : REACH分類
	エポキシ樹脂	区分1 : REACH分類
	ビスフェノールA型エポキシ樹脂	区分1 : REACH分類
	ビスフェノールF型エポキシ樹脂	区分1 : REACH分類
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	ヒトへの発がん性を分類できない。	
生殖毒性	この製品は、生殖影響または発達影響を引き起こすとは予想されない。	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない。	

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分に該当しない。
誤えん有害性	吸引性呼吸器有害性でない。
12. 環境影響情報	
生態毒性	長期継続的影響によって水生生物に毒性。
残留性・分解性	混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない
生体蓄積性	
土壌中の移動性	本製品のデータはない。
オゾン層への有害性	データなし
他の有害影響	その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。
14. 輸送上の注意	
IATA	
UN number	3077
UN proper shipping name	Environmentally hazardous substance, solid, n.o.s.
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary hazard	-
Packing group	III
Environmental hazards	Yes
ERG Code	9L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.
IMDG	
UN number	3077
UN proper shipping name	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (Bisphenol A type epoxy resin), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	9
Subsidiary hazard	-
Packing group	III
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-F
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	該当なし（液体物質ではない）。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG



海洋汚染物質



国内規制

国内輸送については15項の規制に従うこと。

応急措置指針番号

171

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物（SDS交付及びリスクアセスメント対象物）（政令番号、含有量、施行日）

該当せず。

表示対象物

該当せず。

がん原性物質（労働安全衛生規則第577条の2）

該当せず。

変異原性が認められた既存化学物質

ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体

SDS交付及びリスクアセスメント義務化候補物質（含有量、施行日）

2-[(アルキルオキシ)メチル]オキシラン(アルキル基の炭素数が12から14までのもの及びその混合物に限る。)

2025/04/01

3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール

2026/04/01

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物（別名ビスフェノールA型エポキシ樹脂）（液状のものに限る。）

届出不要物質

該当せず。

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

消防法 指定可燃物 (合成樹脂類 - その他のもの)

船舶安全法・危規則 有害性物質

航空法・施行規則 その他の有害物質

火薬類取締法

該当せず。

海洋汚染防止法

三-メチル-三-メトキシブタノール

Z類

その他の情報 皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2)：脂肪族(C12-14)グリシジルエーテル

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

ホルムアルデヒド基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定

JAIA 007315 F☆☆☆☆ 問合せ先 (<http://www.jaia.gr.jp>)

4VOC基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のためのVOC (揮発性物質) 自主管理規定

4VOC基準適合 JAIA 505594 問合せ先 (<http://www.jaia.gr.jp>)

セメダイン株式会社 は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	セメダイン EP48W 硬化剤
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名	セメダイン株式会社
住所	306-0204 茨城県古河市下大野2184
担当部門	品質保証部 化学物質管理グループ
電話番号	0280-92-4518
FAX番号	0280-92-1947
メールアドレス	emg@cemedine.co.jp
緊急連絡電話番号	0280-92-4518 月曜～金曜、8時30分～16時50分まで（言語：日本語）

推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	エポキシ樹脂系二液形接着剤 硬化剤。
使用上の制限	推奨用途以外の用途には使用しないでください。
整理番号	1491-3

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類	
物理化学的危険性	GHS分類基準に該当しない。
健康に対する有害性	皮膚腐食性 / 刺激性 区分1B 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1 生殖細胞変異原性 区分1B 発がん性 区分1B 生殖毒性 (生殖能) 区分2
環境に対する有害性	水生環境有害性 長期 (慢性) 区分2

GHS ラベル要素 絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。重篤な眼の損傷。遺伝性疾患のおそれ。発がんのおそれ。生殖能への悪影響のおそれの疑い。長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん / ミストを吸入しないこと。取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

応急措置 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。皮膚刺激又は発疹（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。漏出物を回収すること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS 分類に関係しない又はGHS で扱われない他の危険有害性

知見なし。

その他の情報

混合物の67.11698 % は急性経口毒性未知の成分である。混合物の67.11698 % は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の68.20148 % は急性吸入毒性未知の成分である。混合物の74.4097 % は水生環境に対する急性危険有害性未知の成分である。混合物の73.43698 % は水生環境に対する長期にわたる危険有害性未知の成分である。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。重篤な眼の損傷。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚炎。発疹。

非常事態の概要

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。発がんのおそれ。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。生殖に対する危険有害性の可能性。遺伝性疾患のおそれ。水路に排出されると環境に対して危険である。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

成分	官報公示整理番号			
	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ポリアミドアミン	企業秘密	企業秘密	企業秘密	30 - 40
4 - t e r t - ブチルフェノール	98-54-4	(3)-503, (4)-57	(3)-503, (4)-57	10 - 20
変性脂肪族ポリアミン	企業秘密	企業秘密	企業秘密	10 - 20
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	90-72-2	(3)-714, (3)-762, (3)-776	(3)-714, (3)-762, (3)-776	1 - 10
3-メトキシ3-メチル-ブタノール	56539-66-3	(2)-3079, (7)-97	(2)-3079, (7)-97	1 - 10
アルキルシクロヘキサン	企業秘密	企業秘密	企業秘密	1 - 5
ステアリン酸マグネシウム	557-04-0	(2)-611	(2)-611	1 - 5
テトラエチレンペンタミン	112-57-2	(2)-162, (7)-5	(2)-162, (7)-5	1 - 5
メタ - キシリレンジアミン	1477-55-0	(3)-2888, (3)-308	(3)-2888, (3)-308, 10-4326	1 - 3
エタノール	64-17-5	(2)-202	(2)-202	0.1 - < 1
プロピルアルコール	67-63-0	(2)-207	(2)-207, 2-(8)-319	0.1 - < 1

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。直ちに医師に連絡すること。化学やけどは医師による手当てを受けなければならない。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

直ちに多量の流水で最低15分間眼を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。嘔吐させない。もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

焼けるような痛みおよび重篤な腐食性の皮膚損傷。重篤な眼の損傷。症状には、刺すような痛み、流涙、充血、はれ及び眼のかすみなどがある。失明等の永久的な眼の損傷がおこる可能性がある。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

医師に対する特別な注意事項

一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。化学やけど：直ちに水で洗い流す。洗いながら火傷の部分に付着していない衣服を取り除く。救急車を呼ぶ。病院への搬送中も水洗いを続ける。被災者の観察を続ける。症状は遅れて出てくることがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	耐アルコール泡。粉末。二酸化炭素 (CO ₂)。
使ってはならない消火剤	火災を拡散させるので、消火に棒状放水を利用しない。
火災時の特有の危険有害性	火災の際は健康に有害なガスが生成されることがある。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具についてはSDS第8項を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。 大量の漏出： リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。 少量の漏出： 残った汚染物を除去するため、床を徹底的に清掃すること。 絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。物質を適切な、ふたとラベルがついた容器に入れてください。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (局所排気、全体換気等)	適切な換気を行う。
安全取扱注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全上の注意を読み理解するまで取り扱わないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。環境への放出を避けること。産業衛生に気を配る。SDS第8項で推奨される個人用保護具を使用すること。
接触回避	アルカリ金属類。詳細についてはSDS第10項を参照。
衛生対策	あらゆる医学的監視要件を遵守すること。本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
保管	
安全な保管条件	施設して保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しい所に保管する。混触禁止物質から離して保管すること (本SDSの項目10を参照)。内容物を5 - 35℃中で保管すること。
安全な容器包装材料	元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
-------	-----------------

暴露限界値

作業環境評価基準(昭和63年9月1日号外、労働省告示第79号)別表

成分	タイプ	数値
プロピルアルコール (CAS 67-63-0)	管理濃度	200 ppm
日本産業衛生学会 - 許容濃度		
成分	タイプ	数値
プロピルアルコール (CAS 67-63-0)	最大許容濃度	980 mg/m ³

日本産業衛生学会 - 許容濃度
成分

タイプ

数値

400 ppm

米国. ACGIH作業環境許容濃度 (TLV)
成分

タイプ

数値

形状

エタノール (CAS 64-17-5)
ステアリン酸マグネシウム
(CAS 557-04-0)

STEL

1000 ppm

TWA

3 mg/m3

呼吸性画分

10 mg/m3

吸入性画分

プロピルアルコール (CAS
67-63-0)

STEL

400 ppm

TWA

200 ppm

メタ - キシリレンジアミン
(CAS 1477-55-0)

最大許容濃度

0.018 ppm

生物学的許容値

ACGIH生物学的許容値 (BEI)

成分	数値	決定要因	標本	サンプル採取時間
----	----	------	----	----------

プロピルアルコール (CAS 67-63-0)	40 mg/l	アセトン	尿	*
----------------------------	---------	------	---	---

* - サンプルングの詳細については原資料をご参照下さい。

暴露ガイドライン

OELは製品の現在の物理的性状とは関係ない。

米国ACGIH許容濃度：皮膚

メタ-キシリレンジアミン (CAS 1477-55-0)

皮膚吸収の危険性

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。この製品は、洗眼設備および緊急用シャワーがあるところで扱わなければならない。

保護具

呼吸用保護具

データなし。

手の保護具

不浸透性の手袋を着用しなければならない。

眼、顔面の保護具

サイドシールドのついた安全眼鏡（またはゴーグル）とフェイスシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性の保護具を着用しなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体。

形状

固体。ペースト状。

色

淡黄色。

臭い

アミン臭。

融点 / 凝固点

データなし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし。

可燃性

データなし。

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

爆発限界 - 下限(%)

データなし。

爆発限界 - 上限(%)

データなし。

引火点

144.0 °C (291.2 °F)

自然発火点

データなし。

分解温度

データなし。

pH

データなし。

動粘性率

データなし。

溶解度

溶解度 (水)

データなし。

n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び / 又は相対密度	
密度	1.01 g/cm ³
相対密度	1.01 g/cm ³
相対ガス密度	データなし。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
比重	1.01

10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	混触危険物質との接触。
混触危険物質	アルカリ金属類。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性	混合物の67.11698 % は急性経皮毒性未知の成分である。混合物の67.11698 % は急性経口毒性未知の成分である。混合物の68.20148 % は急性吸入毒性未知の成分である。
------	---

急性毒性(吸入)	
メタ - キシリレンジアミン	区分4 : REACH分類
急性毒性(経口)	
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	区分4 : REACH分類
テトラエチレンペンタミン	区分4 : REACH分類
急性毒性(経皮)	
テトラエチレンペンタミン	区分4 : REACH分類

成分	種	試験結果
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール (CAS 90-72-2)		
急性		
経皮		
LD50	ラット	1280 mg/kg

皮膚腐食性 / 刺激性	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	区分2 : REACH分類
4 - t e r t - ブチルフェノール	区分2 : REACH分類
テトラエチレンペンタミン	区分1B : REACH分類
メタ - キシリレンジアミン	区分1B : REACH分類

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	重篤な眼の損傷。
2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	区分2 : REACH分類
3-メトキシ3-メチル-ブタノール	区分2 : REACH分類
4 - t e r t - ブチルフェノール	区分1 : REACH分類
プロピルアルコール	区分2 : REACH分類
ポリアミドアミン	区分1 : REACH分類

呼吸器感作性又は皮膚感作性

日本産業衛生学会 - 皮膚感作性物質	
メタ-キシリレンジアミン (CAS 1477-55-0)	1 人間に対して明らかに皮膚感作性がある物質
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

テトラエチレンペンタミン	区分1 : REACH分類
メタ - キシリレンジアミン	区分1 : REACH分類
生殖細胞変異原性	遺伝性疾患のおそれ。本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。
アルキルシクロヘキサン	区分1B : REACH分類
発がん性	発がんのおそれ。
アルキルシクロヘキサン	区分1B : REACH分類
ACGIH発がん性物質	
エタノール (CAS 64-17-5)	A3 動物に対して発がん性が確認された物質 (ヒトに対する発がん性との関連は未知)
ステアリン酸マグネシウム (CAS 557-04-0)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
プロピルアルコール (CAS 67-63-0)	A4 ヒトへの発がん性を分類できない。
IARC発がん性評価モノグラフ	
アルキルシクロヘキサン (CAS 企業秘密)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	生殖能への悪影響のおそれの疑い。
4 - t e r t - ブチルフェノール	区分2 : REACH分類
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
プロピルアルコール	区分3 麻酔作用
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
誤えん有害性	吸引性呼吸器有害性でない。データが部分的または完全に欠如しているため分類できない。
アルキルシクロヘキサン	区分1

12. 環境影響情報

環境影響データ

成分	種	試験結果
4 - t e r t - ブチルフェノール (CAS 98-54-4)		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア マグナ) 3.4 - 4.5 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	ファットヘッドミノー (Pimephales promelas) 4.71 - 5.62 mg/l, 96 時間
エタノール (CAS 64-17-5)		
水生		
急性		
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア マグナ) 7.7 - 11.2 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	ニジマス (Oncorhynchus mykiss) 42 mg/l, 4 日間
プロピルアルコール (CAS 67-63-0)		
水生		
急性		
魚類	LC50	ブルーギル (レボミス・ マクロキルス) > 1400 mg/l, 96 時間
生態毒性		長期継続的影響によって水生生物に毒性。
残留性・ 分解性		混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない
生体蓄積性		
生体内蓄積の可能性		
オクタノール / 水分配係数 log Kow		
エタノール		-0.31
テトラエチレンペンタミン		1.503
プロピルアルコール		0.05

土壌中の移動性	本製品のデータはない。
オゾン層への有害性	データなし

他の有害影響

その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

現地の規定に従い、処分する。空の容器または内張には製品残渣が残っているおそれがある。この物質およびその容器は、安全な方法で廃棄しなければならない。

汚染容器及び包装

製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないこと。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

IATA

UN number	3259
UN proper shipping name	Amines, solid, corrosive, n.o.s.
Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary hazard	-
Packing group	II
Environmental hazards	No.
ERG Code	8L
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.
Other information	
Passenger and cargo aircraft	Allowed with restrictions.
Cargo aircraft only	Allowed with restrictions.

IMDG

UN number	3259
UN proper shipping name	AMINES, SOLID, CORROSIVE, N.O.S. or POLYAMINES, SOLID, CORROSIVE, N.O.S. (Tetraethylene pentamine), MARINE POLLUTANT
Transport hazard class(es)	
Class	8
Subsidiary hazard	-
Packing group	II
Environmental hazards	
Marine pollutant	Yes
EmS	F-A, S-B
Special precautions for user	Read safety instructions, SDS and emergency procedures before handling.

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質 一般情報

該当なし（液体物質ではない）。

IMDGに定める海洋汚染物質。

IATA; IMDG





国内規制

国内輸送については 15 項の規制に従うこと。

応急措置指針番号

154

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物 (SDS交付及びリスクアセスメント対象物) (政令番号、含有量、施行日)

エタノール	政令番号 61
ステアリン酸マグネシウム	政令番号 327
m-キシリレンジアミン	政令番号 555
プロピルアルコール	政令番号 494

表示対象物

エタノール	政令番号 61
ステアリン酸マグネシウム	政令番号 327
m-キシリレンジアミン	政令番号 555

がん原性物質 (労働安全衛生規則第577条の2)

該当せず。

SDS交付及びリスクアセスメント義務化候補物質 (含有量、施行日)

2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	2025/04/01
3,6,9-トリアザウンデカン-1,11-ジアミン (別名テトラエチレンペンタミン)	2025/04/01
3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール	2026/04/01
4-ターシャリ-ブチルフェノール	2025/04/01

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

イソプロピルアルコール

届出不要物質

該当せず。

2023年4月1日以降の化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、管理番号、含量)

3 , 6 , 9 - トリアザウンデカン - 1 , 11 - ジアミン	管理番号 276	3.6 %	(テトラエチレンペンタミン)
4 - ターシャリ - ブチルフェノール	管理番号 368	13 %	(4 - t e r t - ブチルフェノール)

消防法

指定可燃物 (合成樹脂類 - その他のもの)

船舶安全法・危規則	腐食性物質
航空法・施行規則	腐食性物質
火薬類取締法	
該当せず。	
海洋汚染防止法	
テトラエチレンペンタミン	Y類
エタノール	Z類
イソプロピルアルコール	Z類
その他の情報	皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2)：4-ターシャリ-ブチルフェノール、2,4,6-トリ ス(ジメチルアミノメチル)フェノール、テトラエチレンペンタミン、メタ-キシリレンジアミン 労働基準法 労働省労働基準局長通達 基発第477号 (エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について) 硬化剤主成分表示：ポリアミドアミン、変性脂肪族ポリアミン、三級アミン

16. その他の情報

引用文献	ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices HSDB® - Hazardous Substances Data Bank IARC発がん性評価モノグラフ 日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2019年6月 日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告 JIS Z 7252：2019 GHS に基づく化学品の分類方法 JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens ホルムアルデヒド基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のための自主管理規定 JAIA 007315 F☆☆☆☆ 問合せ先 (http://www.jaia.gr.jp) 4VOC基準：(日本接着剤工業会)室内空気質汚染対策のためのVOC (揮発性物質) 自主管理規定 4VOC基準適合 JAIA 505594 問合せ先 (http://www.jaia.gr.jp)
------	--

セメダイン株式会社は、本情報と当社製品、または当社製品と他のメーカーの製品の組み合わせが使用されるあらゆる状況を予測できるわけではありません。製品の処理、保管および処分を行う際に安全な状況を確認するのはユーザーの責任であり、ユーザーは不適切な使用による損失、傷害、損害または費用に法的責任を負います。シートの情報は、現在入手できる最高の知識と経験に基づき記入されています。